

古い情報システムの 刷新サービス開始

未来技術研究所

ソフトウェアの開発などを行う未来技術研究所(若杉聡吾社長、名古屋市中区)は、古くなった情報システムの刷新サービスを開始した。稼働から10年以上が経過して当時の開発者が不在だったり、プログラム設計書が古いままでシステムの機能修正・追加が出来ない場合、同サービスを利用すれば人工知能(AI)技術を活用して最新技術のコードに刷新することができ

る。同サービスでは、システム基盤の刷新や必要とされる追加機能、既存機能の改修などのほか、通常のシステム開発を同時に手掛けることもできる。コードの自動変換だけで

2020年8月25日

**日刊自動車新聞
に掲載されました。**

なく新たに生成したソースプログラムをベースに、新しいプログラム仕様書などをアウトプットすることもできる。